

# 株主の皆様へ

第164期 報告書

平成23年4月1日から平成24年3月31日まで

**Logistics Information Technology**

# 平成24年3月期(連結)のハイライト

	平成24年3月期	平成23年3月期(参考)
営業収益	1,073億4,400万円 (前期比+10.9%)	967億6,600万円
営業利益	67億3,100万円 (前期比+2.8%)	65億4,800万円
経常利益	52億5,100万円 (前期比+10.0%)	47億7,200万円
当期純利益	21億5,100万円 (前期比-15.1%)	25億3,400万円
1株当たり当期純利益	17円32銭 (前期比-15.2%)	20円40銭

<平成25年3月期の連結業績予想> 営業収益▶1,580億円 営業利益▶74億円 経常利益▶56億円 当期純利益▶32億円

## 目次

ごあいさつ	1
当期(平成24年3月期)の概況(連結)	2
グラフで見る三井倉庫(連結ベース)	3
セグメント別の概況	4
連結財務諸表	6
単体財務諸表	8
フォーカス	10
役員紹介	12
会社の概要	13
株式の状況	13

### <注記>

この冊子においては、将来の見通しに関する記述が様々な表現でなされており、その見通しはリスクや不確実性に左右され、実際の結果と大きく異なることも考えられます。読者の皆様には、これらの将来に関する記述に過度に依存なさらないようお願いいたします。



代表取締役社長 藤岡 圭

株主の皆様には、平素よりご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。このたび、社長に就任いたしました藤岡 圭でございます。平成24年3月期（第164期）の報告書をお届けするにあたりまして、ご挨拶申し上げます。

当164期のわが国経済は、前期末に発生した東日本大震災の影響から、復旧復興による緩やかな持ち直しも見られますが、依然として本格的な景気回復には程遠く、先行き不透明な状況が続いています。こうした経済環境の中、当164期の当社グループの業績は、国内物流事業と港湾運送事業が堅調に推移したほか、航空事業は前期に当社グループ入りした株式会社三井倉庫エアカーゴが通期で業績に大きく寄与したこともあり、増収増益を達成することができました。引き続き、当社グループは景気回復など外部環境の好転という不確定要素に頼ることなく、業績の着実な伸張と持続的な企業価値向上を図るため、複数企業の買収等により、売上の拡大、サービス品質の向上、コスト競争力の強化に努めてまいります。

当社では本年4月より、従来のセグメントの一部を発展的に再編し、市場環境の急速な変化に対して、各セグメントが今まで以上に顧客のニーズを的確にとらえた、魅力あるサービスを国内外のマーケットに迅速に投入できるような体制作りを進めております。

このうち「ロジスティクスシステム事業」におきましては、既に家電分野を中心とした3PL事業に確固たる地位を築いている三洋電機ロジスティクス株式会社の全株式を取得し、社名を三井倉庫ロジスティクス株式会社に変更して、連結子会社といたしました。これにより、顧客のニーズに対応したITシステムや全国に展開する物流網と合わせて、当社が志向する物流プラットフォーム構築に大きく貢献するものと考えております。また、「国際輸送事業」におきましては、株式会社三井倉庫エアカーゴとトヨタグループのTAS エクスプレス株式会社を合併して、エアフォワードディング事業の統合によるシナジー効果の実現により、当社グループの国際輸送事業を一層拡充強化してまいります。

更に本年11月竣工を目指して神戸市で建設を進めている医薬品専用倉庫など、設備投資を進める一方、こうした投資を柔軟に行えるよう、市場環境の変化に対応する健全な財務体質の確保に努めてまいり所存です。

株主の皆様には、こうした当社の考えをご理解いただき、より一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成24年6月

# 当期(平成24年3月期)の概況(連結)

## 全般の概況

当期におけるわが国経済は、前期末に発生した東日本大震災の影響から期初より鉱工業生産指数が前年同月比マイナス基調で推移するなど、依然、本格的な景気回復には程遠い状況ではありますが、復旧復興に向けた取り組みの中で設備投資などを中心に緩やかながらも持ち直しの兆しが見えつつあります。

物流業界におきましても、前期、中国等アジア向けを中心に好調であった輸出取扱も欧州など海外経済の減速や円高に加え、タイでの洪水の影響などから伸び悩むなど、依然として厳しい状況が継続しておりますが、前年同月比マイナスで推移していた営業普通倉庫21社統計1～3類倉庫の保管残高が11月にプラスに転じるなど、改善の兆しも現われつつあります。

こうした経済環境の中、当期の当社グループの業績は、物流においては、国内物流事業は保管残高や国内運送の取扱が回復したことから増収増益となり、また、港湾運送事業も前期における新規船社獲得が寄与したことなどから増収増益

## 次期の見通し

こうした中、当社グループにおきましては、従前に引き続き、景気回復など外部環境の好転という不確定要素に頼ることなく、市場・顧客のニーズを的確にとらえた魅力あるサービスを国内外のマーケットに投入していくことで、業績の着実な伸張と持続的な企業価値向上を図ってまいります。次期の業績予想につきましては、従来手法からの抜本的な転換による国内物流事業、港湾運送事業の収益基盤の強化、今後の成長の源泉となる事業の育成、経営資源配分の徹底した集中と選択の実施といった従前からの取り組みに加え、複数の企業買収による業容

となりました。グローバルネットワーク事業は北米並びに北東アジア地域での取扱量の減少から全体として減収減益となり、航空事業は前期に全株式を取得した株式会社三井倉庫エアカーゴが通期で業績に寄与したことから大幅な増収増益となりました。一方、不動産事業においては、前期に資産効率改善の観点から賃貸ビルを売却したことから減収減益となりました。

これらの結果、連結営業収益は前期に比べ105億7千8百万円増の1,073億4千4百万円、連結営業利益は同1億8千3百万円増の67億3千1百万円となり、連結経常利益は同4億7千9百万円増の52億5千1百万円となりました。これらに加え、資産効率改善の観点から固定資産の売却を行った結果、税金等調整前当期純利益は前期比4億1千7百万円増の42億7千5百万円となりましたが、法人税率引下げに伴う繰延税金資産の取崩しを行ったことなどから、連結当期純利益は同3億8千2百万円減の21億5千1百万円となりました。

の拡大をてこに、さらなるサービス品質の向上、コスト競争力の強化に努めてまいりる所存であり、これらにより、次期の連結営業収益は1,580億円(前期比47.2%増)、連結営業利益は74億円(同9.9%増)、連結経常利益は56億円(同6.6%増)、連結当期純利益は32億円(同48.7%増)と予想しております。

# グラフで見る三井倉庫 (連結ベース)

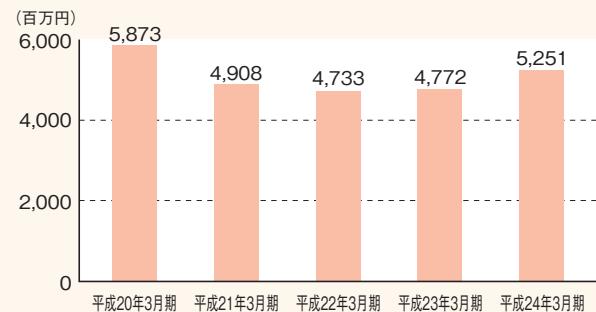
## 営業収益



## 営業利益



## 経常利益



## 純利益



## 総資産



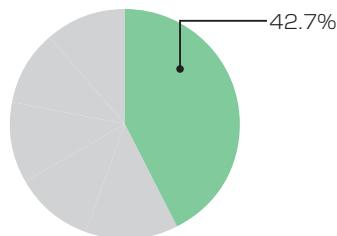
## 純資産



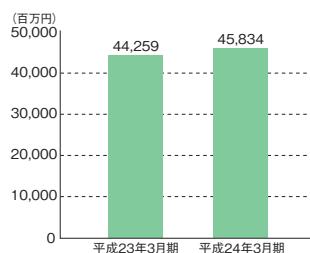
# セグメント別の概況

## 国内物流事業

### ●営業収益構成比



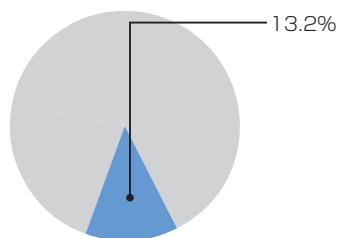
### ●営業収益



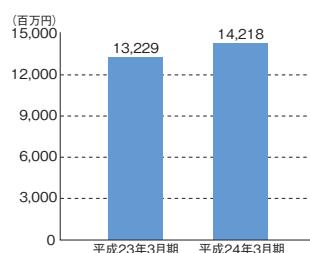
国内において一般事業者を対象に倉庫保管、国内運送、流通加工などの様々な物流サービスを提供する国内物流事業においては、保管残高が前期に比べ大きく増加し、一般貨物取扱運送、コンテナ取扱運送などの業務が伸張した結果、営業収益は458億3千4百万円(前期比15億7千4百万円増)となり、営業利益は34億7千2百万円(同6億5千9百万円増)となりました。

## 港湾運送事業

### ●営業収益構成比



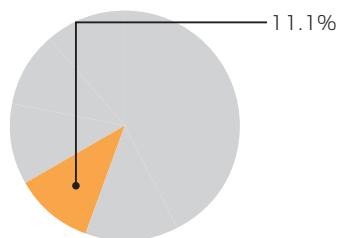
### ●営業収益



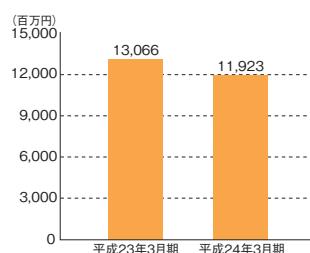
船会社を主な顧客として港湾作業・運送サービスを提供する港湾運送事業においては、既存顧客船社の取扱量の増加に加え、中国航路における新規船社の獲得や既存顧客船社の航路増設などもあったことから、コンテナターミナル作業の取扱が好調に推移した結果、営業収益は142億1千8百万円(前期比9億8千9百万円増)となり、営業利益は9億7千9百万円(同8千2百万円増)となりました。

## グローバルネットワーク事業

### ●営業収益構成比



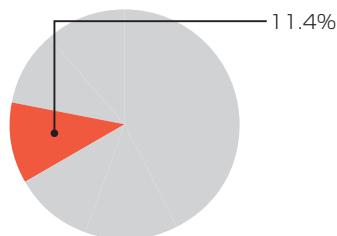
### ●営業収益



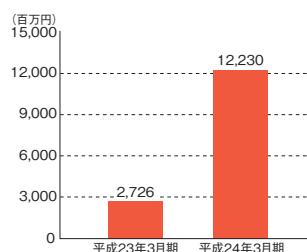
海外現地法人による物流サービスを提供するグローバルネットワーク事業においては、北米地域において家電製品の取扱の減少等から減収減益となり、北東アジアでも全般的に取扱量が減少したことから、営業収益は119億2千3百万円(前期比11億4千2百万円減)となり、営業損失は1億4千9百万円(同2億6千7百万円の悪化)となりました。

## 航空事業

### ●営業収益構成比



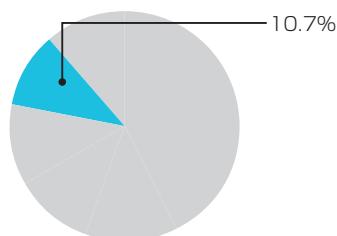
### ●営業収益



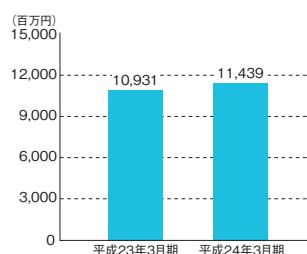
航空貨物の混載輸送及び付随する物流サービスを提供する航空事業においては、昨年3月国際貨物輸送事業のさらなる拡充、強化を目指し全株式を取得した株式会社三井倉庫エアカーゴが通期で業績に寄与したことなどから、営業収益は122億3千万円(前期比95億3百万円増)となり、営業利益は3億6千6百万円(同3億9千7百万円の改善)となりました。

## その他物流事業

### ●営業収益構成比



### ●営業収益

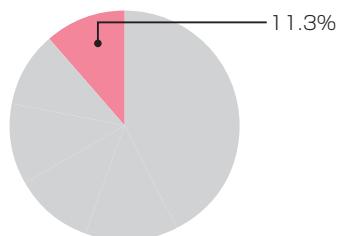


その他物流事業は、顧客が自ら行っている業務プロセスを受託し、運営・管理するBPO事業、並びにSCM支援サービスや複合一貫輸送サービスを提供するロジスティクスシステム事業から構成されております。

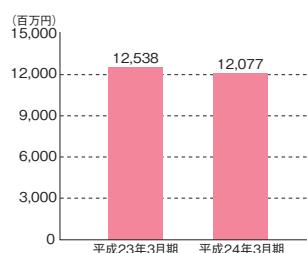
BPO事業においては、新規顧客の獲得による業容拡大等があった結果、業務開始に伴う一時費用の発生や新施設開設に伴う減価償却負担の増があったものの増収増益となり、ロジスティクスシステム事業においても、震災の影響を大きく受けた関東地域において日本発着の複合一貫輸送の取扱が減少したものの、中部、関西地域で取扱が増加し、また、3PL業務、治験薬の保管・配送業務取扱が伸張り増収増益となったことから、その他物流事業全体としては、営業収益は114億3千9百万円(前期比5億7百万円増)となり、営業利益は1千8百万円(同3億1千3百万円の改善)となりました。

## 不動産事業

### ●営業収益構成比



### ●営業収益



不動産賃貸事業は、前期において資産効率並びに財務バランスの改善の観点から賃貸ビルの売却を行ったことなどにより、営業収益は120億7千7百万円(前期比4億6千1百万円減)となり、営業利益は72億7千3百万円(同2億4千9百万円減)となりました。

# 連結財務諸表

## 連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	第164期	第163期	科 目	第164期	第163期
	平成24年3月31日現在	平成23年3月31日現在		平成24年3月31日現在	平成23年3月31日現在
(資産の部)			(負債の部)		
<b>流動資産</b>	<b>71,733</b>	<b>37,540</b>	<b>流動負債</b>	<b>47,589</b>	<b>41,308</b>
現金及び預金	52,263	17,580	支払手形及び営業未払金	7,532	7,632
受取手形及び営業未収金	15,173	14,851	短期借入金	12,998	965
繰延税金資産	798	872	1年内返済予定の長期借入金	16,129	17,705
その他	3,545	4,270	1年内償還予定の社債	—	5,000
貸倒引当金	△47	△35	未払法人税等	904	1,656
<b>固定資産</b>	<b>125,604</b>	<b>146,495</b>	賞与引当金	1,586	1,511
有形固定資産	99,992	121,359	その他	8,437	6,835
建物及び構築物	50,560	64,535	<b>固定負債</b>	<b>98,896</b>	<b>92,760</b>
機械装置及び運搬具	2,939	3,243	社債	36,000	36,000
土地	43,062	51,291	長期借入金	54,228	48,834
建設仮勘定	879	38	繰延税金負債	1,577	1,310
その他	2,548	2,249	退職給付引当金	2,288	2,289
無形固定資産	8,071	8,348	その他	4,801	4,325
のれん	2,636	2,932	<b>負債合計</b>	<b>146,485</b>	<b>134,068</b>
その他	5,434	5,416	(純資産の部)		
投資その他の資産	17,540	16,786	資本金	11,100	11,100
投資有価証券	10,923	11,164	資本剰余金	5,563	5,563
長期貸付金	490	432	利益剰余金	34,002	32,968
繰延税金資産	1,358	1,606	自己株式	△99	△98
前払年金費用	1,288	1,224	その他有価証券評価差額金	2,101	2,002
その他	3,523	2,453	為替換算調整勘定	△2,532	△2,280
貸倒引当金	△44	△95	少数株主持分	716	711
<b>資産合計</b>	<b>197,338</b>	<b>184,035</b>	<b>純資産合計</b>	<b>50,852</b>	<b>49,967</b>
			<b>負債、純資産合計</b>	<b>197,338</b>	<b>184,035</b>

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

## 連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	第164期	第163期
	平成23年4月1日から 平成24年3月31日まで	平成22年4月1日から 平成23年3月31日まで
営業収益	107,344	96,766
営業原価	92,323	83,341
営業総利益	15,021	13,424
販売費及び一般管理費	8,289	6,876
営業利益	6,731	6,548
営業外収益	632	636
営業外費用	2,112	2,413
経常利益	5,251	4,772
特別利益	2,566	1,366
特別損失	3,542	2,280
税金等調整前当期純利益	4,275	3,857
法人税、住民税及び事業税	1,277	826
法人税等調整額	806	506
法人税等合計	2,083	1,332
少数株主損益調整前当期純利益	2,191	2,524
少数株主利益又は損失(△)	40	△9
当期純利益	2,151	2,534

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

## 連結包括利益計算書

(単位：百万円)

科 目	第164期	第163期
	平成23年4月1日から 平成24年3月31日まで	平成22年4月1日から 平成23年3月31日まで
少数株主損益調整前当期純利益	2,191	2,524
その他有価証券評価差額金	99	△701
為替換算調整勘定	△266	△431
持分法適用会社に対する持分相当額	△16	△39
その他の包括利益	△183	△1,172
包括利益	2,007	1,352
(内訳)		
親会社株主にかかる当期包括利益	1,998	1,396
少数株主にかかる当期包括利益	9	△43

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

## 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	第164期	第163期
	平成23年4月1日から 平成24年3月31日まで	平成22年4月1日から 平成23年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,682	8,104
投資活動によるキャッシュ・フロー	15,388	△17,910
財務活動によるキャッシュ・フロー	9,606	11,154
現金及び現金同等物に係る換算差額	△104	△190
現金及び現金同等物の増減額(△減少)	34,573	1,157
現金及び現金同等物期首残高	17,361	16,115
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	87
現金及び現金同等物期末残高	51,934	17,361

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

## 連結株主資本等変動計算書

(単位：百万円)

第164期 平成23年4月1日から 平成24年3月31日まで	株主資本				その他の包括利益累計額			少数株主 持分	純資産合計	
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定			その他の包括 利益累計額合計
当期首残高	11,100	5,563	32,968	△98	49,533	2,002	△2,280	△278	711	49,967
連結会計年度中の変動額										
剰余金の配当			△1,117		△1,117					△1,117
当期純利益			2,151		2,151					2,151
自己株式の取得				△0	△0					△0
株主資本以外の項目の 連結会計年度中の変動額(純額)						98	△252	△153	5	△147
連結会計年度中の変動額合計	—	—	1,033	△0	1,033	98	△252	△153	5	885
当期末残高	11,100	5,563	34,002	△99	50,567	2,101	△2,532	△431	716	50,852

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

# 単体財務諸表

## 単体貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	第164期	第163期	科 目	第164期	第163期
	平成24年3月31日現在	平成23年3月31日現在		平成24年3月31日現在	平成23年3月31日現在
(資産の部)			(負債の部)		
<b>流動資産</b>	<b>57,265</b>	<b>23,887</b>	<b>流動負債</b>	<b>41,526</b>	<b>34,023</b>
現金及び預金	44,819	11,557	営業未払金	5,461	5,120
受取手形	123	89	短期借入金	12,082	83
営業未収金	9,302	8,399	1年内返済予定の長期借入金	15,817	17,488
繰延税金資産	577	465	1年内償還予定の社債	—	5,000
その他	2,461	3,380	未払法人税等	414	—
貸倒引当金	△18	△5	賞与引当金	930	850
<b>固定資産</b>	<b>123,539</b>	<b>142,626</b>	その他	6,820	5,481
有形固定資産	91,349	112,358	<b>固定負債</b>	<b>94,859</b>	<b>88,665</b>
建物	46,531	59,744	社債	36,000	36,000
土地	38,478	46,680	長期借入金	53,124	47,928
その他	6,338	5,932	繰延税金負債	1,153	747
無形固定資産	5,401	5,363	退職給付引当金	88	37
借地権	2,261	2,269	その他	4,492	3,952
その他	3,140	3,093	<b>負債合計</b>	<b>136,385</b>	<b>122,689</b>
投資その他の資産	26,789	24,904	(純資産の部)		
投資有価証券	21,503	21,352	資本金	11,100	11,100
長期貸付金	554	294	資本剰余金	5,563	5,563
前払年金費用	1,288	1,224	利益剰余金	25,899	25,406
その他	3,654	2,091	自己株式	△99	△98
貸倒引当金	△210	△58	その他有価証券評価差額金	1,956	1,853
<b>資産合計</b>	<b>180,805</b>	<b>166,514</b>	<b>純資産合計</b>	<b>44,420</b>	<b>43,825</b>
			<b>負債、純資産合計</b>	<b>180,805</b>	<b>166,514</b>

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

## 単体損益計算書

(単位：百万円)

科 目	第164期	第163期
	平成23年4月1日から 平成24年3月31日まで	平成22年4月1日から 平成23年3月31日まで
<b>営業収益</b>	<b>74,291</b>	<b>72,917</b>
営業原価	64,205	63,056
<b>営業総利益</b>	<b>10,086</b>	<b>9,861</b>
販売費及び一般管理費	5,424	5,107
<b>営業利益</b>	<b>4,662</b>	<b>4,753</b>
営業外収益	978	855
営業外費用	1,929	2,236
<b>経常利益</b>	<b>3,711</b>	<b>3,372</b>
特別利益	2,566	895
特別損失	3,621	1,973
税引前当期純利益	2,656	2,294
法人税、住民税及び事業税	562	314
法人税等調整額	483	583
<b>当期純利益</b>	<b>1,610</b>	<b>1,396</b>

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

## ●株式配当金の状況

	第164期	第163期
中間配当金	1株につき4.5円	1株につき4.5円
期末配当金	1株につき4.5円	1株につき4.5円
年間配当金	1株につき9.0円	1株につき9.0円

## 単体株主資本等変動計算書

(単位：百万円)

第164期 平成23年4月1日から 平成24年3月31日まで	株主資本								自己株式	株主資本 合計	評価・換算差額等 其他 有価証券 評価差額金	純資産 合計
	資本金	利益剰余金										
		資本剰余金	利益剰余金	其他利益剰余金				繰越利益 剰余金				
	資本準備金	利益準備金	配当準備 積立金	固定資産圧縮 積立金	圧縮特別 勘定積立金	別途積立金						
当期首残高	11,100	5,563	2,562	307	1,261	—	20,294	982	△98	41,971	1,853	43,825
事業年度中の変動額												
剰余金の配当								△1,117		△1,117		△1,117
固定資産圧縮積立金の積立					544			△544		—		—
固定資産圧縮積立金の取崩					△418			418		—		—
圧縮特別勘定積立金の積立						608		△608		—		—
当期純利益								1,610		1,610		1,610
自己株式の取得									△0	△0		△0
株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額(純額)											102	102
事業年度中の変動額合計	—	—	—	—	126	608	—	△242	△0	492	102	594
当期末残高	11,100	5,563	2,562	307	1,387	608	20,294	739	△99	42,463	1,956	44,420

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

## 〔物流ビジネスのさらなる発展を目指して〕

2012年4月2日、当社は三洋電機ロジスティクス株式会社の全株式を取得し、連結子会社といたしました。同日、同社は社名を「三井倉庫ロジスティクス株式会社」に変更し、当社グループの一員として新たにスタートしました。今回のフォーカスでは、同社を傘下に加え、さらなる発展を期す当社グループの成長戦略をご紹介します。

### 株式取得

#### ～グループ参入で業務基盤の拡大を目指す

2010年8月、三井倉庫は2013年3月期を最終年度とする中期経営計画「新成長戦略@2010」を策定しました。「新成長戦略@2010」では、業務構造改革による既存物流事業の収益力強化と並んで、今後の成長の源泉となる新たな事業の育成を事業運営の基本方針に掲げています。この中で、

#### 三井倉庫ロジスティクス(株)の概要

本社所在地：大阪府枚方市南中振三丁目3番1号  
 資本金：67億8百万円  
 代表取締役：浅野 勉  
 主な事業：ロジスティクス・ソリューション事業  
 国際物流事業  
 国内一般物流事業  
 拠点所在地：北海道、宮城、東京、神奈川、千葉、  
 埼玉、群馬、愛知、岐阜、富山、滋賀、  
 大阪、広島、鳥取、香川、福岡、熊本、  
 沖縄

サードパーティーロジスティクス（3PL）事業を拡充すべき事業と位置づけており、その一環として実施したのが、三洋電機ロジスティクスの株式取得です。

### 三井倉庫と三井倉庫ロジスティクス ～互いを補完しあう理想的な関係

三井倉庫ロジスティクスは、1971年に三洋電機株式会社の物流専門会社として創業しました。家電分野を中心とする3PL事業で業界に確固たる地位を確立してきましたが、近年はグローバルな物流体制の構築や物流受託規模の拡大による競争力の強化を経営課題に据えていました。一方、当社グループは次代の収益源を確立すべく、3PL事業をはじめとする新事業の育成に注力してきました。両社の戦略や競争優位性が互いを補完しあう関係にあったことから、同社を当社

グループに迎え入れ、3PL事業の推進体制を整備するとともに、顧客基盤の拡充と物流プラットフォームの多様化、高度化を図ることとしました。

### シナジー効果

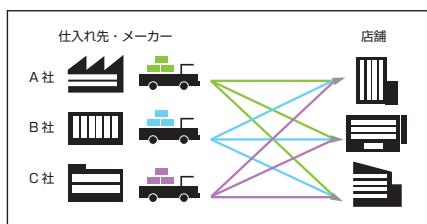
#### ～物流サービスのさらなる高度化を実現

新たなスタートを切った三井倉庫ロジスティクスは、さまざまなお客様に最適な物流戦略を提案し、お客様に代わって物流業務を包括受託する

3PL事業で盤石の強みを持っています。また家電という取扱商品の特性から、エンドユーザーに直結する消費者物流領域において卓越したノウハウと先進的なITシステムを有しています。当社が得意とする原料素材などを取り扱う生産物流と三井倉庫ロジスティクスが強みを持つ製品を取り扱う消費者物流のリソースやノウハウを融合、互いに活用して、国内の3PL事業の伸展と消費者物流業務の拡大や、海外における3PL業務の展開など、サービスの品質の向上と業務範囲の拡大を図り、お客様の要望にお応えしていきます。

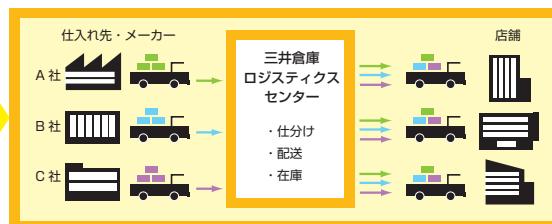
### 従来のシステムと3PL導入後の比較

#### 従来 ▶ ムダの多い物流作業



店舗別に直送納入されるメーカー配送は、各店舗毎の納品点数や品種、煩雑な仕分け等で非効率。

#### 業務の合理化&コストダウン



3PLにより重複する物流作業や情報を集約し、コストも低減。

# 役員紹介 (平成24年6月28日現在)



前列左から：藤岡圭、田村和男 後列左から：帰山二郎、碓誠、中谷幸裕、武隈壮治、田原口誠

<b>取 締 役</b>	取締役会長	田村 和男	
	代表取締役社長	藤岡 圭	最高経営責任者
	取締役副社長	帰山 二郎	経営企画室、事業開発室担当 兼 三井倉庫ロジスティクス株式会社取締役会長
	代表取締役常務取締役	碓 誠	経営管理部門長 兼 最高財務責任者
	代表取締役常務取締役	中谷 幸裕	企業管理部門長 兼 コンプライアンス責任者
	常務取締役	武隈 壮治	中国・アジア事業部門長
	常務取締役	田原口 誠	港湾運送事業部門長
	取締役上級執行役員	道瀬 英二	関西支社長
	取締役上級執行役員	池田 求	BPO事業部門長
	取締役上級執行役員	矢川 康治	関東支社長
社外取締役(非常勤)	深津 泰彦		
社外取締役(非常勤)	内田 和成		
<b>監 査 役</b>	常任監査役(常勤)	笹尾新一郎	
	社外監査役(常勤)	大久保慶一	
	社外監査役(非常勤)	竹山 哲夫	
	社外監査役(非常勤)	須藤 修	
<b>執 行 役 員</b>	上級執行役員	五十嵐俊一	中部支社長
	執行役員	高遠 健治	米州欧州事業部門長
	執行役員	小笠原 審	九州支社長 兼 三井倉庫九州株式会社社長
	執行役員	後藤 大輔	国際輸送事業部門長
	執行役員	小川 良司	ロジスティクスシステム事業部門長
	執行役員	宮島 義明	営業統括部門長
	執行役員	池田 隆二	米州地域代表 兼 三井倉庫(米国)社社長

## 会社の概要

- 商号 三井倉庫株式会社  
(英文社名：MITSUI-SOKO Co.,Ltd.)
  - 設立 明治42年(1909年)10月11日
  - 本社 東京都港区西新橋三丁目20番1号
  - 国内事業所 本社、関東支社、横浜支店、中部支社、  
関西支社、神戸支店、九州支社
  - 海外拠点 アメリカ、オランダ、チェコ、ポーランド、  
アラブ首長国連邦、シンガポール、  
マレーシア、タイ、インドネシア、フィリピン、  
ベトナム、香港、中国、台湾、韓国
  - 主な営業種目 倉庫業  
港湾運送業  
国内運送業  
国際運送取扱業  
不動産賃貸業
  - 資本金 11,100,714,274円
  - 従業員 787名(他に出向者57名)  
(平成24年  
3月31日現在)
  - 三井倉庫グループ会社
- 
- 連結子会社 49社
- 
- 主要な子会社
- 三井倉庫ビジネスパートナーズ(株)
  - (株)三井倉庫エアカーゴ
  - 三井倉庫港運(株)
  - 三井倉庫九州(株)
  - MITSUI-SOKO (U. S. A.) INC.
  - MITSUI-SOKO (EUROPE) B. V.
  - MITSUI-SOKO (SINGAPORE) PTE. LTD.
  - MITEX LOGISTICS (SHANGHAI) CO., LTD.
  - MITEX INTERNATIONAL (HONG KONG) LTD.
- 
- 持分法適用関連会社 6社

## 株式の状況 (平成24年3月31日現在)

- 発行済株式の総数……124,415,013株(前期末比 増減なし)
- 株主数……………7,347名(前期末比-185名)

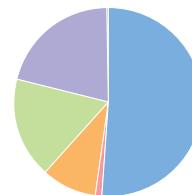
### ● 大株主(上位10名)

氏名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	12,236	9.85
三井生命保険株式会社	9,546	7.68
三井住友海上火災保険株式会社	7,697	6.19
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	6,597	5.31
クレディ・スイス・セキュリティーズ(ヨーロッパ)リミテッド ビービーセックイントノンティールクライアント	3,748	3.01
株式会社三井住友銀行	3,484	2.80
三井倉庫従業員持株会	2,826	2.27
ノーザン トラスト カンパニー エイブイエフシー リ ノーザン トラスト ガンジー アイリツシユ クライアント	2,792	2.24
ジュニパー	2,616	2.10
株式会社竹中工務店	2,484	2.00

(注)千株未満の株式数は切り捨てて表示しております。  
持株比率は自己株式(222,698株)を控除して算出しております。

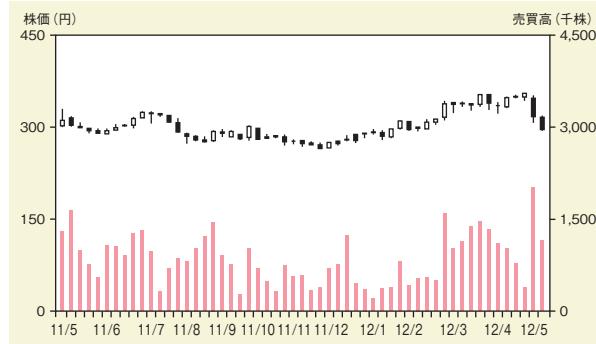
### ● 所有者別分布状況

金融機関	63,660 千株	51.2%
証券会社	1,320 千株	1.1%
国内法人	11,777 千株	9.5%
外国人	21,511 千株	17.3%
個人・その他	25,922 千株	20.8%
当社(自己株式)	222 千株	0.2%



### ● 株価及び売買高の推移(東京証券取引所)

(証券コード9302)



## ● 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月下旬に開催
同総会における議決権行使株主基準日	基準日現在1単元(1,000株)以上を有する株主 定時株主総会の議決権 3月31日 期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日
上場証券取引所	東京証券取引所(市場第1部)、大阪証券取引所(市場第1部)
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱所 (郵便物送付先、電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話(フリーダイヤル)0120-782-031
同取次窓口	三井住友信託銀行株式会社 全国各支店
公告方法	電子公告により、以下の当社ホームページに掲載いたします。 <a href="http://www.mitsui-soko.co.jp/">http://www.mitsui-soko.co.jp/</a>

### ■ 住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社等にお申出ください。

なお、証券会社等に口座がないため特別口座が開設された株主様は、三井住友信託銀行株式会社(上に記載の「郵便物送付先、電話照会先」と同じです。)にお申出ください。

### ■ 未払配当金の支払のお申出先について

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社(上に記載の「郵便物送付先、電話照会先」と同じです。)にお申出ください。